



令和7年度 第13回 科学の甲子園 ジュニア全国大会 (12月12日～14日 兵庫県姫路市で開催)

岐阜県代表チーム

瑞穂市立穂積中学校
岐南町立岐南中学校



イメージキャラクター
「アッピン」



**岐阜県代表として
堂々と闘い抜きました！**

県大会・全国大会に出場してよかったことは？

- 今までよりも数学・理科に対する意欲が上がったこと。全国を見たことで、自分はまだまだだと思い、もっと上を目指したくなったこと。（穂積中：棚瀬智也さん）
- 岐阜県大会に向けて、チームメイトと学校で練習できて楽しかったです。県大会の当日は張りつめた空気が心地良かったです。全国大会は他県の人たちと楽しく関われたことや、穂積中の人たちと一緒に練習したり、本番で力を合わせたりして仲良くなれて、出場できてよかったと思いました。（岐南中：尾藤未菜さん）
- 全国から集まった人と交流ができた。それぞれのチーム独自のアイデアを知ることができ楽しかったです。実技競技の事前練習で放課後にチームメイトと集まって、試行錯誤しながら実験を行い、絆を深めることができました。（岐南中：中村心優さん）
- 普段の生活をしていたらまず関わることのない日本全国の中学生と交流できて、いろいろな文化を知ることができた。また、仲のよい友達と一緒に全国大会に参加できた。実技競技の事前課題では、難しい課題について、全力で何日間も取り組むという機会は、これまでの生活ではなかったが、研究の仕事をしている人のような、試行錯誤を繰り返す経験ができたことがよかった。（岐南中：酒井 保さん）
- 自分の得意な分野が分かって、それを生かすことができた。また、全国大会では2校合同で出場したことで、コミュニケーション力がついたり、普段会うことも話すこともないような人と話したり、問題を解いたりできて楽しかった。（穂積中：内藤向希さん）



県大会や全国大会に出場するにあたってやっておくとよいことは？

- 数学・理科の勉強や過去問をもっとやる！（穂積中：棚瀬智也さん）
- チームのメンバーと問題の分担とか、実技競技で担当する作業（回答用紙にまとめる、実際に作る など）をしっかりと確認する。（穂積中：内藤向希さん）
- 実技競技では事前に練習をして、再現性を高める。ひらめきを鍛える。文章読解力を鍛える。（穂積中：宗宮寛仁さん）
- 筆記競技で、情報と数学を担当した。特に情報のプログラム言語の問題が難しかったので、勉強しておきたい。実技競技では、事前にコースのしくみやデザインは何度も考えたが、実際に作ることの練習が足らなかったなので、もっと行っておきたい。（岐南中：酒井 保さん）
- 筆記競技は、過去問をもっと解いておく。実技競技は、時間内に絶対できるようになるまで練習して、自信をもって取り組めるようにする。（岐南中：尾藤未菜さん）
- 実技競技では、さらに記録を良くするために試行錯誤を重ね、粘り強く案を出し続けてさらに改良する。（岐南中：中村心優さん）



★全国大会の過去問はこちら↓

<https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/pastexam/index.html>



来年度全国大会に出場する後輩たちへのメッセージは？

- ・ チームメイトで、得意分野が違ふと思うので、分担したり、助け合ったりして問題を解くとよいです。実技競技ではたくさん試行錯誤をするといいと思います。（岐南中：中村心優さん）
- ・ この大会の問題は難しい上に、その場で仲間と考へて答えを導き出すことができるのでとても楽しいです。だから普段から疑問に思つたことについて、どうしてそうなるのか理由を考へて、筋道を立てて考へるようにするといいと思います。（岐南中：酒井 保さん）
- ・ 科学の甲子園ジュニアでは数学・理科の難しい問題が出てきます。大事なことはあきらめないことです。難しくてもあきらめなければ、解ける問題もあるかもしれません。頑張ってください！！（穂積中：棚瀬智也さん）
- ・ 全国大会は県大会とは違い、他校の人と6人でチームを組み、各県の強者が集まり、会場もとても大きいので緊張するかもしれません。でも、県大会の優勝、準優勝ということに自信をもって頑張ってください！他校の人と関わったり、全国大会に出たりするというのはなかなかない貴重な経験です。楽しんでください！（穂積中：内藤向希さん）
- ・ たくさん練習して上位めざしてがんばって！（穂積中：宗宮寛仁さん）
- ・ 県大会も全国大会もすごく楽しかったです。競技の練習や準備も大切だけど、やっぱり楽しんでやるのが大切だから、チームメイトへの思いやりを大切に、楽しく頑張るってね！（岐南中：尾藤未菜さん）



引率された先生から



- 全国大会に向けての練習会、他校の生徒と関わり、チームワークを高めること、全国大会のレベルを目の当たりにし、自分たちの力試しができたこと、全国大会の競技以外のプログラム（サイエンスショー、フェアウェルパーティー、協賛企業のワークショップ）など、生徒に様々な経験をさせることができたことがよかったと思います。全国大会に向けての練習会では、教育委員会の先生方にも大変お世話になりました。全国大会では、特に困ることもなく、とても引率がしやすかったです。ただ、もう1校の先生には、実技競技の事前・事後課題を引き受けていただきましたが、大変ご負担をおかけしたと感じています。（穂積中：市瀬彩乃先生）
- 全国大会では、それぞれの県で選りすぐられてきた中学生と、理科、数学などにおける複数分野の競技で、全力で勝負することを通して、優れたアイデア、科学を楽しむ心、仲間と力を合わせる喜びなどを肌で感じることができました。悔しさや自分の弱さも感じたと思いますが、それ以上に互いのよさを認め合い、その考え方を尊重し、憧れをもって新たな見方考え方を獲得していく楽しさを味わい、さらに未知の分野に挑戦する探究心や創造性、自信と希望をもつことができたと感じています。（岐南中：太田貴敏先生）
- こんな良い体験ができることを知らない科学が好きな生徒や先生がまだいるのではないかと思うので、県大会の参加者や参加校が増えるよう、さらに周りに広め、科学の甲子園ジュニアを盛り上げていくよう努力したいと考えています。

